

Jミルクが2023年5月26日に公表した「需給見通し(※2023年3月迄実績)」の予測値とその後の実績をグラフ化しています。

「牛乳乳製品統計(農林水産省)」の公表に併せて、今後も毎月配信していきます。

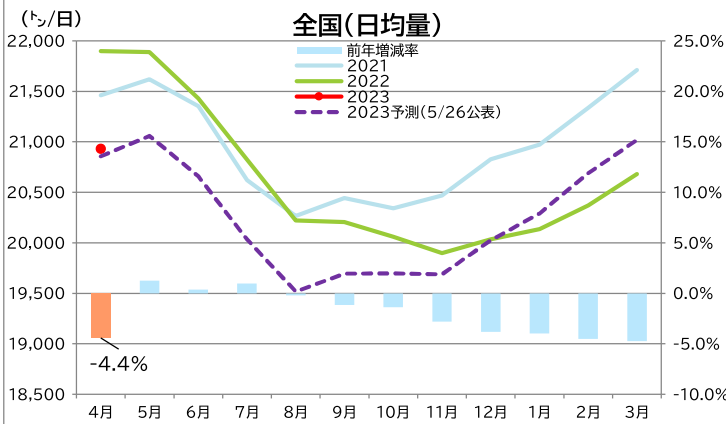
発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《家庭内需要は引き続き低調～6月は牛乳月間、業界全体で消費拡大・理解醸成を～》

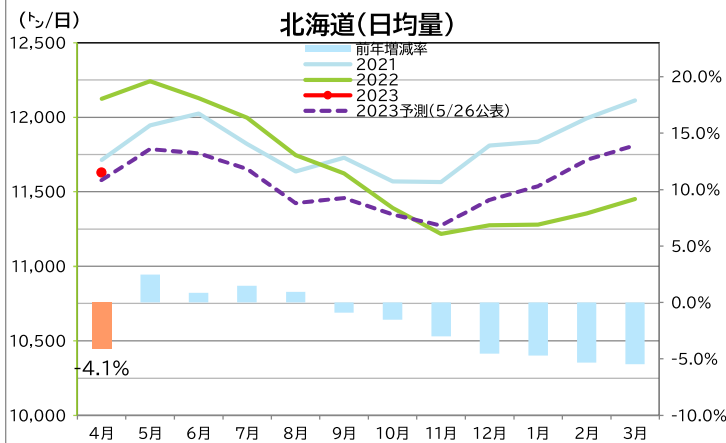
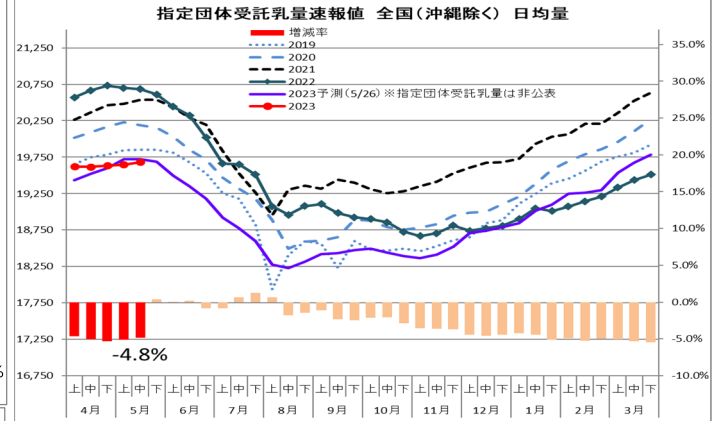
- ・4月の生乳需給実績は、飲用等向は前年比▲3.6%となったものの、生乳生産量は北海道、都府県ともに引き続き前年を下回り、全国では▲4.5%となった。生乳生産量の減少幅が大きく、乳製品向は▲5%を超える減少率となった。なお、全国指定団体受託乳量(速報)では5月中旬で前年比で▲4.8%となっており、統計実績についても同様の傾向と予測される。
- ・乳製品向仕向量の減少から脱脂粉乳とバターの生産量は前年を10%以上も下回っている。バターは好調な業務用需要が継続しているが、国家貿易による輸入売渡を含めると、在庫量は前月並み水準となっている。一方、脱脂粉乳は全国協調の在庫削減対策の効果があるものの、対策分を除く実需としては大きくないと推定され、在庫量は前月よりも微増となった。引き続き製品価格改定による需要への影響に注視する必要がある、2023年度も在庫解消対策継続による消化が不可欠である構造に変わりはない。
- ・5/29週の牛乳類の販売動向は、前週(5/22週)よりも販売個数は減少した。週末に各地で記録的な大雨に見舞われ購買機会が減少したこと等が要因となったと推察される。関東甲信地方が本日梅雨入りしたと発表された。天候・気温によって飲用向を中心に販売動向は大きく左右されることとなるため、今後の動向を注視したい。
- ・4月のインバウンドは2019年同月と比較して67%まで回復しており、徐々に訪日観光客が増加していることから引き続き業務用需要の増加に期待がかかる。一方で家庭内需要は牛乳類全体で95%を中心とした推移が続く。食料品等の相次ぐ値上げによる家計負担の増大、生活防衛意識、8月からの飲用等向生乳取引価格引き上げや資材価格高騰等に伴う製品価格改定を踏まえると、今後も低調な消費が続くことを想定せざるを得ない。
- ・国産牛乳乳製品を選択してもらえるよう価格改定への理解や栄養的な優位性等を丁寧に説明することも必要となる。6月の牛乳月間に合わせて、業界全体で消費拡大、理解醸成活動に注力し、需要の底上げを図ることが重要なポイントとなる。

【生乳生産量】※増減率は、日均量で算出。

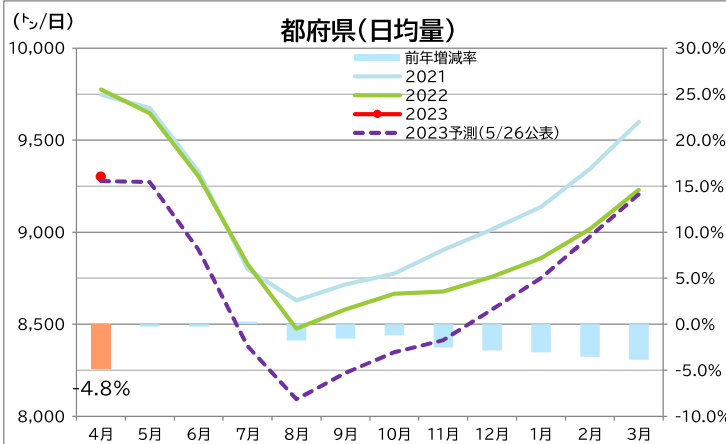
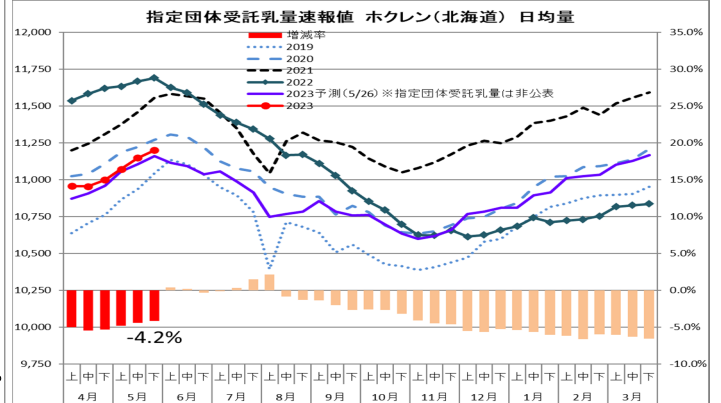
- (1)4月の生乳生産量は、全国628.0千ト(前年同月比95.6%)、北海道348.9千ト(同95.9%)、都府県279.1千ト(同95.2%)。
- (2)Jミルク予測値(全国625.7千ト、北海道347.3千ト、都府県278.3千ト)との比較は、北海道、都府県ともにやや上振れとなった。
- (3)直近の指定団体速報値は全国が5月中旬で同95.2%、都府県(沖縄除く)が同94.7%、北海道は5月下旬で95.8%となった。



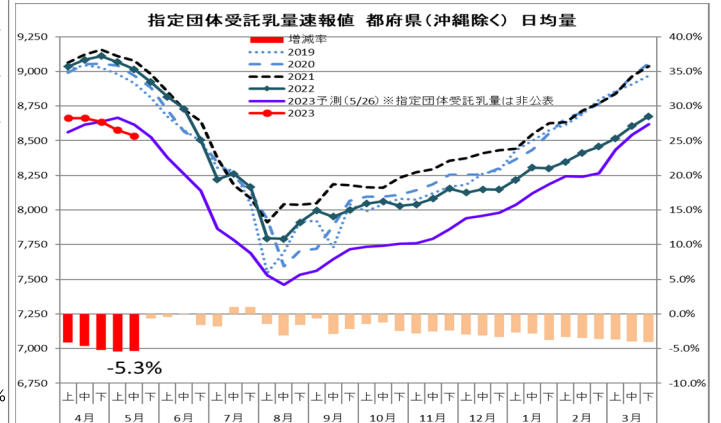
指定団体速報値 全国(沖縄除く)※5月中旬



指定団体速報値 ホクレン※5月下旬



指定団体速報値 都府県(沖縄除く)※5月中旬



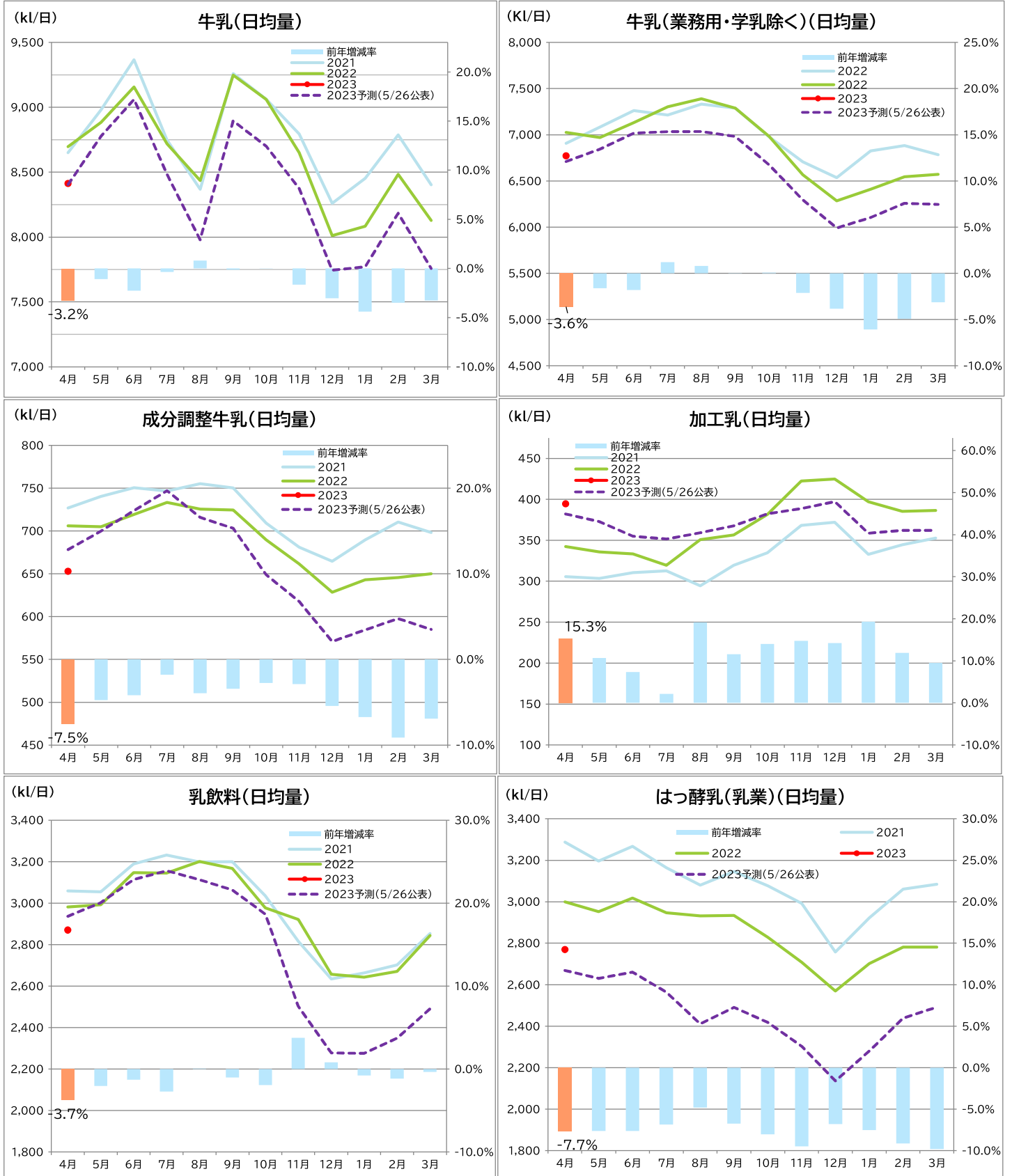
【牛乳等生産量】 ※増減率は、日均量で算出。

(1)4月の牛乳等生産量は、牛乳252.4千kl(前年同月比96.8%)、成分調整牛乳19.6千kl(同92.5%)、加工乳11.8千kl(同115.3%)、乳飲料86.1千kl (同96.3%)となり、牛乳類合計では369.9千kl(同96.9%)となった。

(2)「牛乳」のうち、「業務用以外」は、同96.4%、「業務用」は同95.0%、「学乳」は101.3%。

(3)はっ酵乳(乳業)は83.1千kl(同92.3%)と前年を大きく下回って推移している。

※なお、「乳飲料」及び「はっ酵乳」の統計について、「令和3年度」及び「令和4年1~12月」の値が確定されたため、更新済。

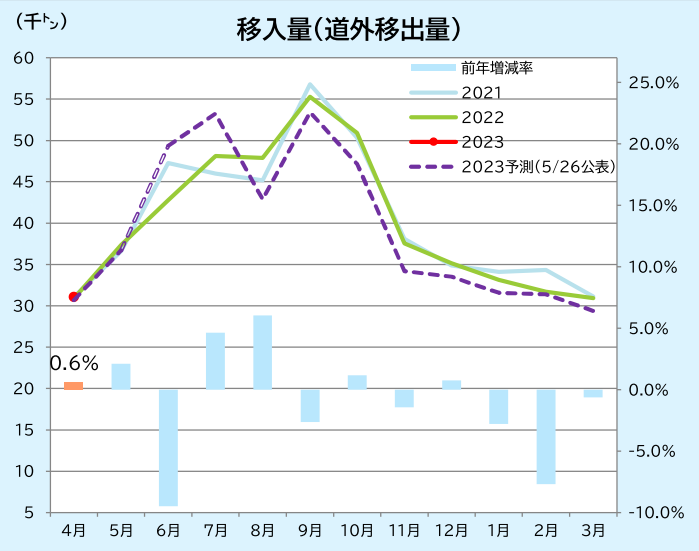
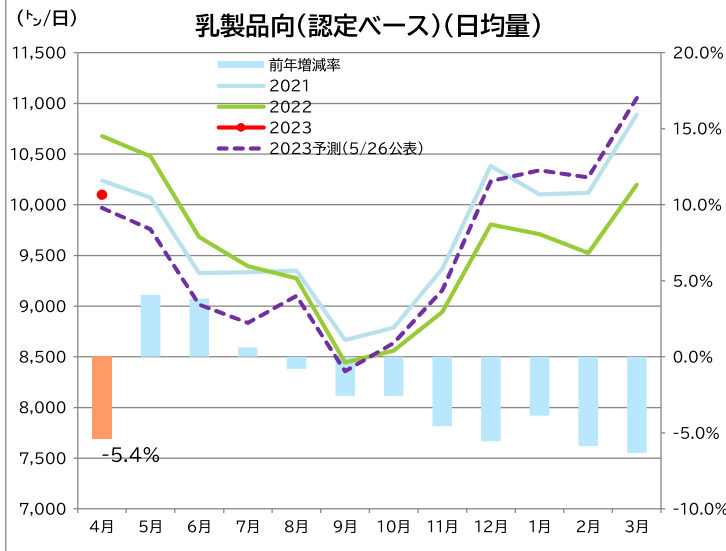
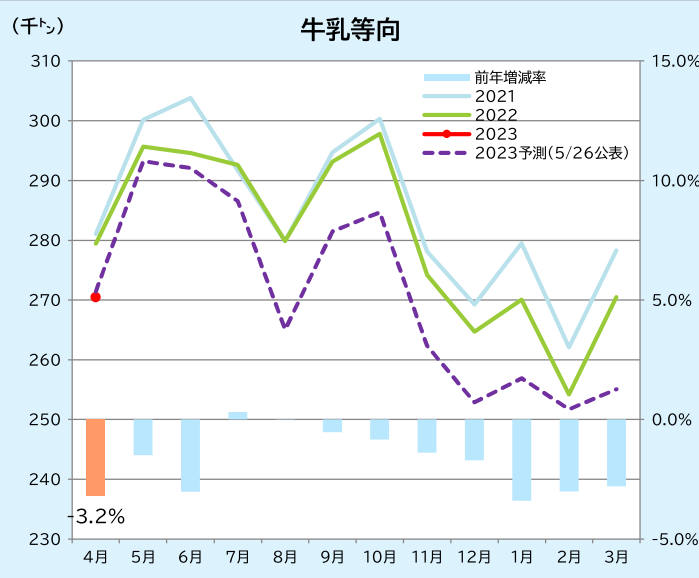
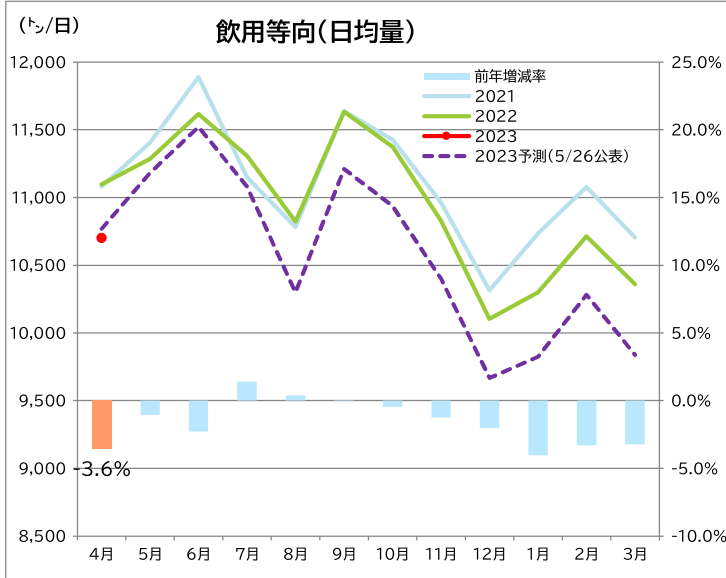
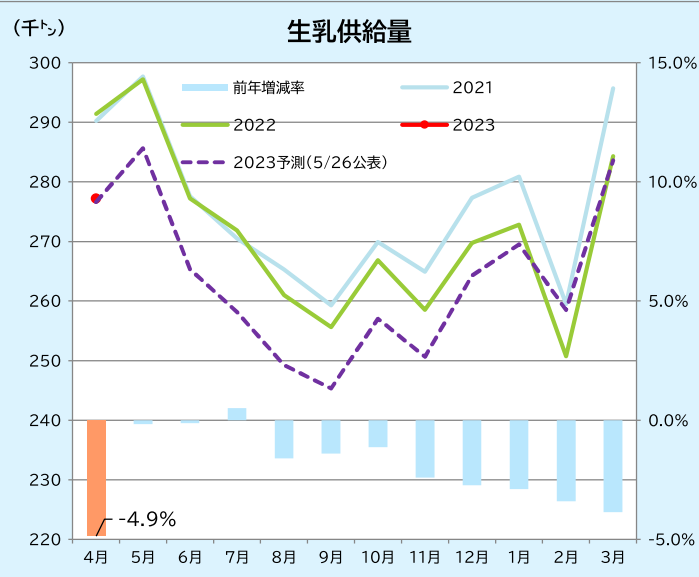
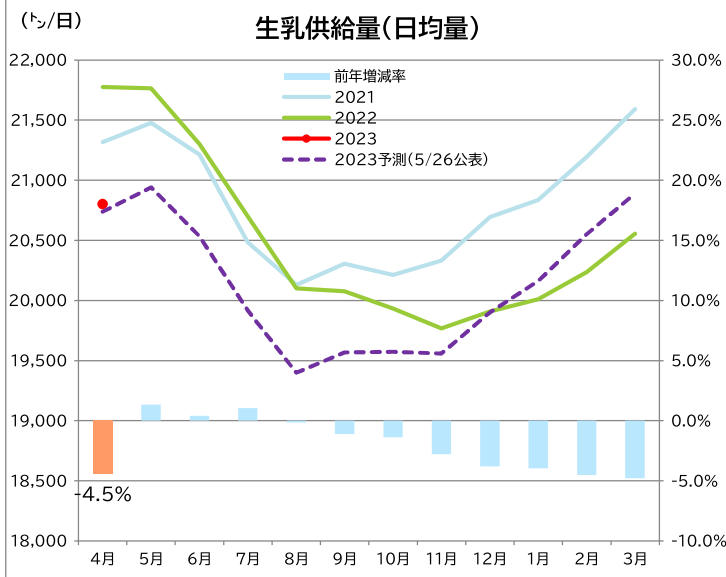


【用途別処理量(全国)】 ※増減率は、日均量で算出。

(1)4月の生乳供給量は624.1千トン(前年同月比95.5%)、飲用等向321.1千トン(同96.4%)、乳製品向(認定ベース)303.0千トン(同94.6%)。
 (2)飲用等向、生乳供給量ともに前年を下回ったが、生乳供給量の減少幅の方が大きく、乳製品向は大きく前年を下回った。
 (3)予測値との比較では、生乳供給量(予測値:622.1千トン)はやや上振れ、飲用等向(予測値:323.1千トン)はやや下振れ、結果乳製品向(予測値:299.1千トン)は上振れとなった。

【都府県の生乳需給】

(1)4月は、生乳供給量277.2千トン(前年同月比95.1%)、牛乳等向270.5千トン(同96.8%)。
 (2)北海道からの移入量について、31.1千トン(同100.6%)と概ね前年並みとなった。
 (3)予測値との比較では、生乳供給量(予測値:276.6千トン)、牛乳等向(予測値:271.4千トン)、北海道からの移入量(予測値:30.7千トン)ともに予測値水準並みとなった。



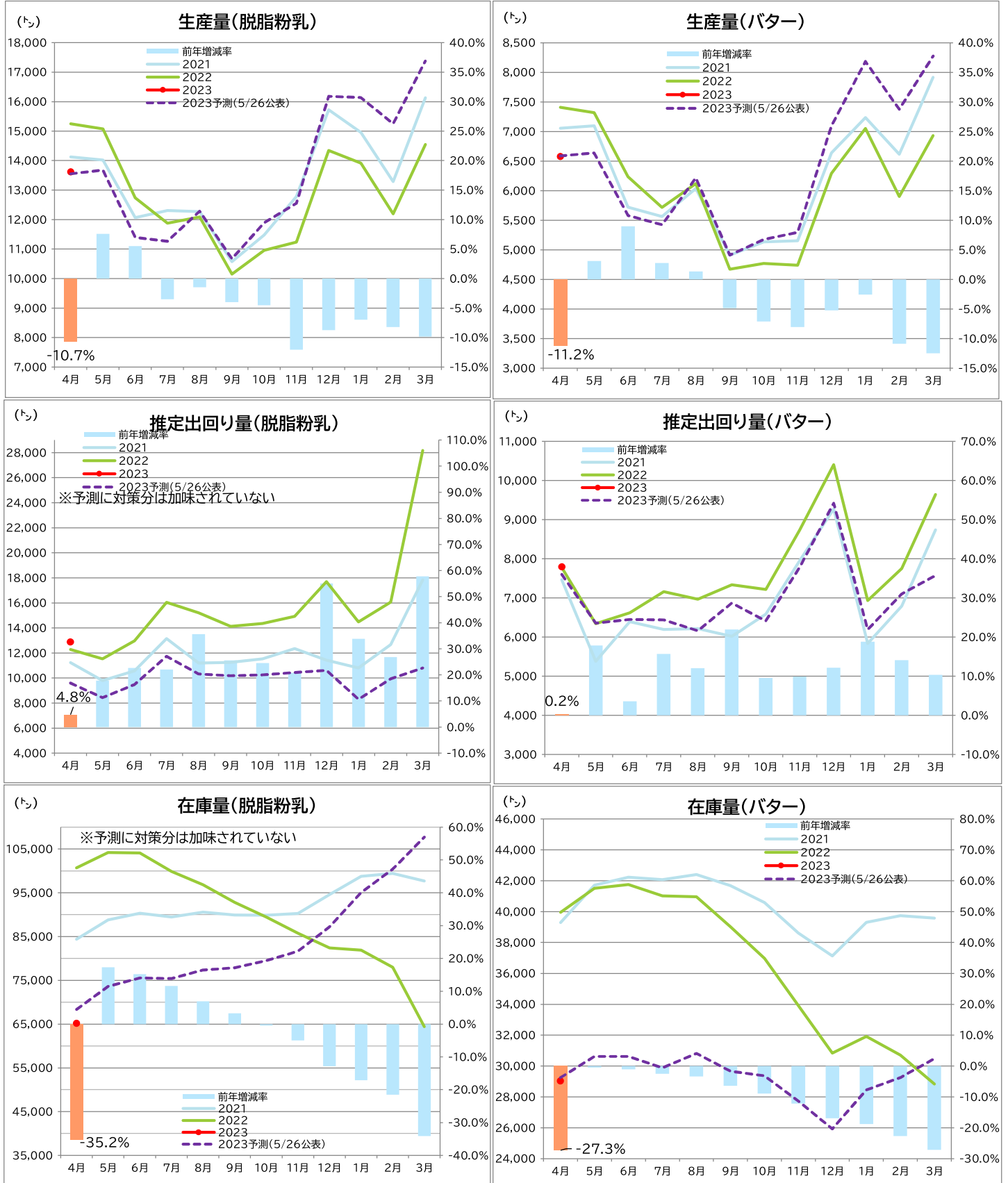
【脱脂粉乳・バター】の需給

(1)脱脂粉乳について、4月の生産量は13.6千ト(前年同月比89.3%)、推定出回り量は12.9千ト(同104.8%)。結果、在庫量は65.2千ト(同64.8%)。出回り量よりも生産量が上回ったことで、在庫は前月よりも増加したものの、2ヶ月連続で6万ト台を維持している。5月26日にJミルクより公表した需給見通しでは、在庫対策を講じない場合、需要と供給の単年度ギャップは43千ト程度となり、在庫量は再び10万トを超える高水準になると予測されている。新商品の投下等、需要拡大に努めるとともに、2023年度も全国協調の在庫削減対策による国産脱脂粉乳への置換を最大限かつ着実に取り組む必要がある。

※推定出回り量には全国協調の在庫対策による国産脱脂粉乳への置換分を含む。

(2)バターについて、4月の生産量は6.6千ト(同88.8%)、推定出回り量は7.8千ト(同100.2%)。結果、在庫量は29.0千ト(同72.7%)。生産量よりも出回り量を上回っているものの、国家貿易による輸入売渡分を考慮すると在庫は前月よりも増加した。在庫量は12ヶ月連続で前年を下回った。引き続き消費動向を注視しつつ、国家貿易も含めて需要に対応した安定供給に努める必要がある。

⇒脱脂粉乳・バターともにコロナ禍前の在庫水準に減少しているが、今後製品価格改定による需要減少が懸念され、動向に注視が必要。



【牛乳類の販売速報(推定値):インテージSRI+】※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(1)5月の動向(表①参照)

・販売個数は、牛乳:前年同月比96.4%、成分調整牛乳:同84.6%、加工乳:同90.7%、乳飲料:同98.8%。

牛乳類では同95.7%

【参考】2021年5月比…牛乳:89.3%、成分調整牛乳:80.4%、加工乳:88.1%、乳飲料:91.5%(牛乳類トータル:89.0%)

・販売単価は、牛乳:207.2円、成分調整牛乳:192.7円、加工乳:209.7円、乳飲料:163.9円。

(2)直近の週次動向(表②・グラフ参照)

・直近(5/29週)の販売個数は、牛乳:前年同期比95.0%、成分調整牛乳:同84.2%、加工乳:同89.4%、乳飲料:同96.7%。

牛乳類トータルでは同94.3%

※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 牛乳類の月別販売動向】

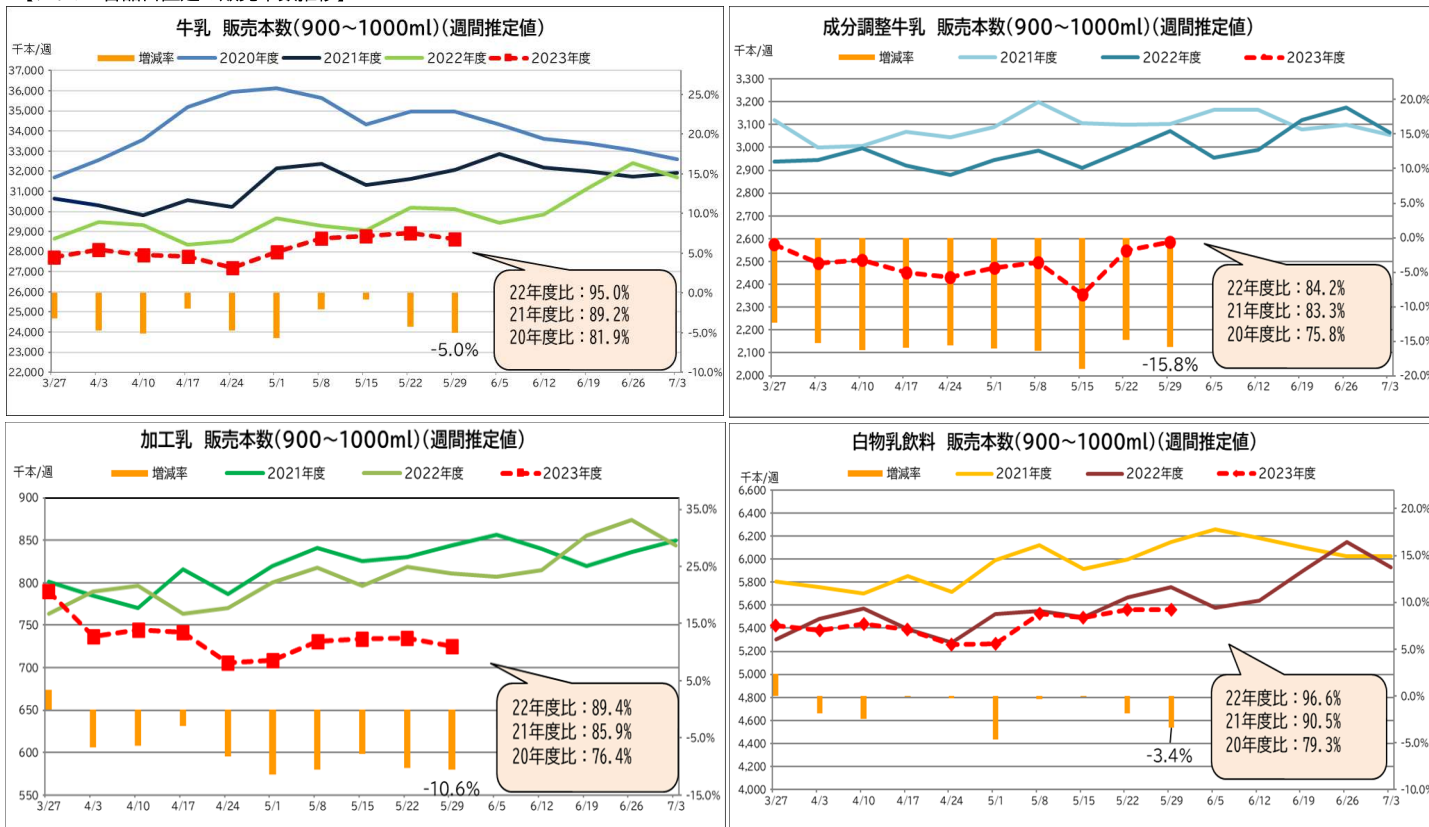
品目	区分	2022/12-	2023/1-	2023/2-	2023/3-	2023/4-	2023/5-	2023/5- 2022/10価格差	2023/5- 2023/3価格差		
		販売個数	159,283	152,958	141,046	157,260	157,169	164,698	16.8	1.6	
販売個数前年比	96.6	93.9	93.1	95.8	96.0	95.7					
トータル	販売単価	197.5	198.0	197.8	198.3	199.6	199.9	17.0	0.7		
	販売個数	120,429	115,620	106,788	119,417	120,068	126,050				
牛乳	販売個数前年比	95.6	92.8	92.4	95.6	96.5	96.4	19.0	3.4		
	販売単価	206.2	207.0	206.3	206.5	207.1	207.2				
成分調整牛乳	販売個数	11,550	10,874	10,022	10,992	10,701	11,123	19.6	9.8		
	販売個数前年比	92.3	88.9	86.4	87.3	84.5	84.6				
加工乳	販売単価	188.3	189.0	188.0	189.3	192.2	192.7	14.2	3.6		
	販売個数	3,257	3,068	2,907	3,253	3,206	3,233				
乳飲料	販売個数前年比	98.7	95.5	96.2	97.6	95.6	90.7	157.6	157.3		
	販売単価	199.7	200.8	198.6	199.9	205.8	209.7				
牛乳	販売個数	24,047	23,397	21,330	23,597	23,195	24,291	163.1	163.9		
	販売個数前年比	104.0	102.5	100.2	101.1	99.3	98.8				
成分調整牛乳	販売単価	157.6	157.3	159.7	160.3	163.1	163.9	16.5	1.6		
	販売個数	36,524	36,349	35,581	36,429	37,424	37,658				
トータル	販売個数前年比	94.4	97.2	95.0	93.6	96.9	98.5	95.2	94.3		
	販売単価	199.7	199.8	199.9	200.0	199.7	200.0				
牛乳	販売個数	27,837	27,769	27,184	27,980	28,666	28,791	28,914	28,624	16.8	0.5
	販売個数前年比	94.9	98.0	95.3	94.3	97.9	99.1	95.8	95.0		
成分調整牛乳	販売単価	207.2	207.3	207.4	207.3	207.1	207.0	207.2	207.1	18.1	3.3
	販売個数	2,508	2,452	2,431	2,472	2,497	2,529	2,547	2,587		
加工乳	販売個数前年比	83.7	84.0	84.4	83.9	83.6	86.9	85.2	84.2	20.5	10.1
	販売単価	192.1	193.0	192.7	191.9	192.6	193.0	193.1	192.0		
乳飲料	販売個数	745	742	706	709	731	749	735	725	14.1	4.3
	販売個数前年比	93.6	97.2	91.7	88.6	89.3	94.1	89.7	89.4		
牛乳	販売単価	207.3	207.3	207.1	209.4	210.4	208.8	210.8	211.4	14.1	4.3
	販売個数	5,434	5,386	5,259	5,268	5,530	5,589	5,558	5,562		
成分調整牛乳	販売個数前年比	97.5	99.9	99.7	95.3	99.6	101.7	98.1	96.7	164.1	164.0
	販売単価	163.5	163.3	163.3	163.4	164.0	164.0	164.1	164.0		

単位:千個、円

【表② 牛乳類の販売動向(直近の週次動向)】

品目	区分	4.10-	4.17-	4.24-	5.1-	5.8-	5.15-	5.22-	5.29-	23.5.29- 22.10.24 価格差	23.5.29- 23.3.20 価格差
		販売個数	36,524	36,349	35,581	36,429	37,424	37,658	37,755	37,499	16.5
販売個数前年比	94.4	97.2	95.0	93.6	96.9	98.5	95.2	94.3			
トータル	販売単価	199.7	199.8	199.9	200.0	199.7	199.7	200.0	199.8	16.8	0.5
	販売個数	27,837	27,769	27,184	27,980	28,666	28,791	28,914	28,624		
牛乳	販売個数前年比	94.9	98.0	95.3	94.3	97.9	99.1	95.8	95.0	18.1	3.3
	販売単価	207.2	207.3	207.4	207.3	207.1	207.0	207.2	207.1		
成分調整牛乳	販売個数	2,508	2,452	2,431	2,472	2,497	2,529	2,547	2,587	20.5	10.1
	販売個数前年比	83.7	84.0	84.4	83.9	83.6	86.9	85.2	84.2		
加工乳	販売単価	192.1	193.0	192.7	191.9	192.6	193.0	193.1	192.0	14.1	4.3
	販売個数	745	742	706	709	731	749	735	725		
乳飲料	販売個数前年比	93.6	97.2	91.7	88.6	89.3	94.1	89.7	89.4	164.1	164.0
	販売単価	207.3	207.3	207.1	209.4	210.4	208.8	210.8	211.4		
牛乳	販売個数	5,434	5,386	5,259	5,268	5,530	5,589	5,558	5,562	14.1	4.3
	販売個数前年比	97.5	99.9	99.7	95.3	99.6	101.7	98.1	96.7		
成分調整牛乳	販売単価	163.5	163.3	163.3	163.4	164.0	164.0	164.1	164.0	16.5	1.6
	販売個数	36,524	36,349	35,581	36,429	37,424	37,658	37,755	37,499		
トータル	販売個数前年比	94.4	97.2	95.0	93.6	96.9	98.5	95.2	94.3	95.2	94.3
	販売単価	199.7	199.8	199.9	200.0	199.7	199.7	200.0	199.8		
牛乳	販売個数	27,837	27,769	27,184	27,980	28,666	28,791	28,914	28,624	16.8	0.5
	販売個数前年比	94.9	98.0	95.3	94.3	97.9	99.1	95.8	95.0		
成分調整牛乳	販売単価	207.2	207.3	207.4	207.3	207.1	207.0	207.2	207.1	18.1	3.3
	販売個数	2,508	2,452	2,431	2,472	2,497	2,529	2,547	2,587		
加工乳	販売個数前年比	83.7	84.0	84.4	83.9	83.6	86.9	85.2	84.2	20.5	10.1
	販売単価	192.1	193.0	192.7	191.9	192.6	193.0	193.1	192.0		
乳飲料	販売個数	745	742	706	709	731	749	735	725	14.1	4.3
	販売個数前年比	93.6	97.2	91.7	88.6	89.3	94.1	89.7	89.4		
牛乳	販売単価	207.3	207.3	207.1	209.4	210.4	208.8	210.8	211.4	14.1	4.3
	販売個数	5,434	5,386	5,259	5,268	5,530	5,589	5,558	5,562		
成分調整牛乳	販売個数前年比	97.5	99.9	99.7	95.3	99.6	101.7	98.1	96.7	164.1	164.0
	販売単価	163.5	163.3	163.3	163.4	164.0	164.0	164.1	164.0		

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):インテージSRI+】

(1)直近の週次動向(表③参照)

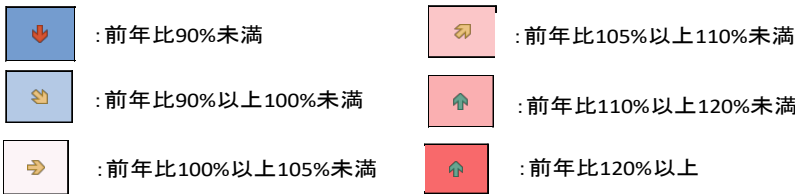
直近(5/29週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同90%以上。

(2)販売個数について、全ての品目で前週(5/22週)よりも減少した。はっ酵乳全体としても前年を下回る推移となっている。

※出典 ㈱インテージSRI+週データ。販売個数については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表③ ヨーグルト類の販売動向】

品目	4.10-	4.17-	4.24-	5.1-	5.8-	5.15-	5.22-	5.29-
ドリンクタイプ	➡	↗	↗	➡	➡	➡	↘	↘
個食タイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘
大容量タイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘



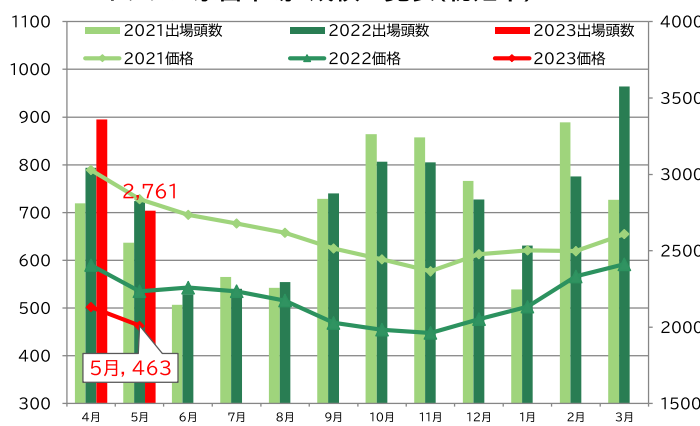
※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいかを表す。

【家畜販売価格動向(税込)】

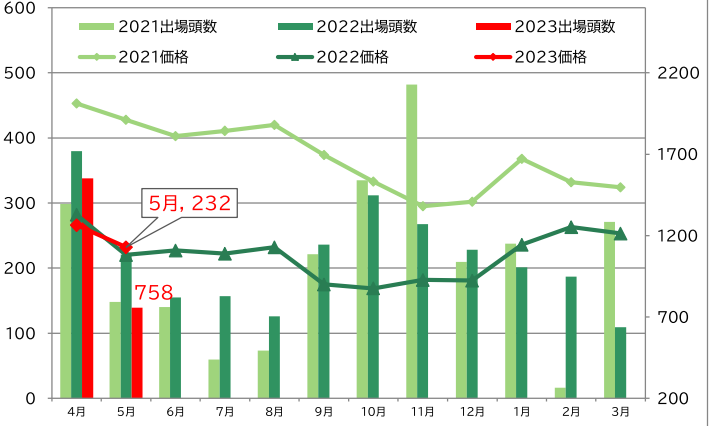
(1)5月の家畜販売価格動向について、ホクレン家畜市場集計によると、初妊牛価格は463千円(前年同期比86.5%)、育成牛価格は232千円(同105.5%)、和牛素牛(去勢)価格は743千円(同94.5%)、F1素牛(去勢)価格は349千円(同93.8%)、F1初生(雄)価格は112千円(同57.4%)。初妊牛は8ヶ月振りに40万円台に下落した。F1初生(雄)は3ヶ月連続で10万円を上回った。

(2)出場頭数(出回り頭数)は、初妊牛:同97.7%、育成牛:同70.0%、和牛素牛(去勢):同100.1%、F1素牛(去勢):同111.6%、F1初生(雄):同125.6%。※ホクレン家畜市場集計表 速報値(<https://www.kachiku.hokuren.or.jp/Downloadresult.aspx>)

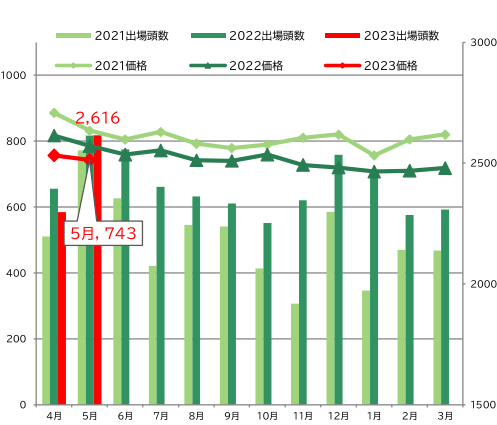
(千円) ホクレン家畜市場 成績一覧表(初妊牛)



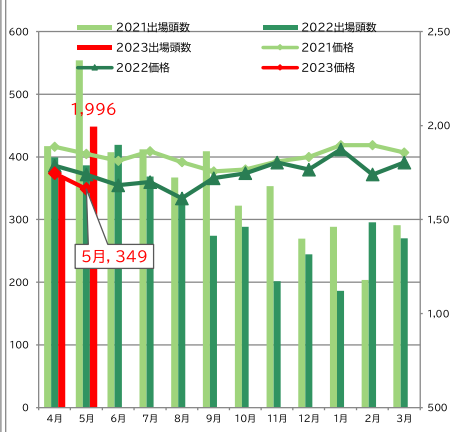
(千円) ホクレン家畜市場 成績一覧表(育成牛)



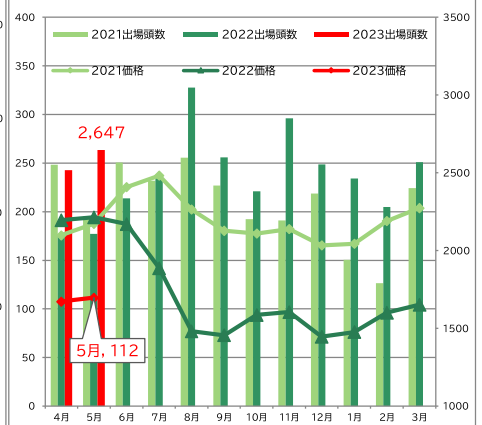
(千円) ホクレン家畜市場 成績一覧表(黒毛素牛 去勢)



(千円) ホクレン家畜市場 成績一覧表(F1素牛 去勢)

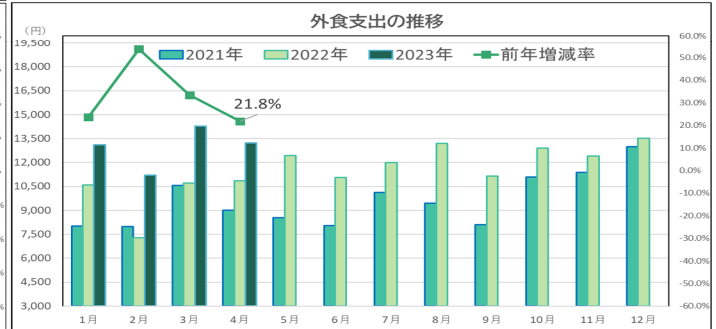
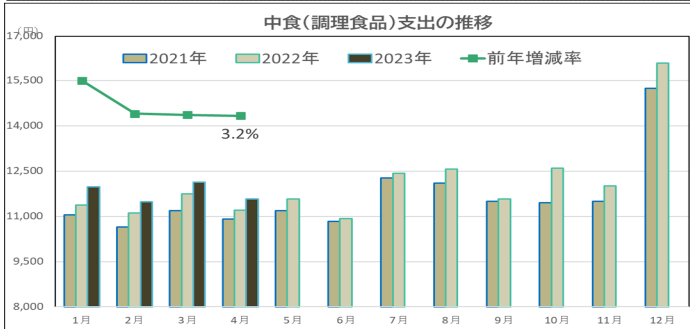
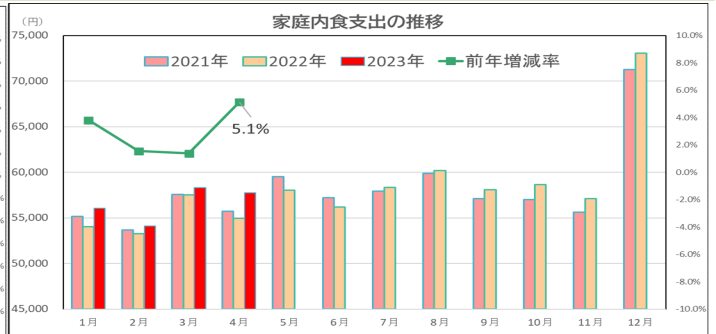
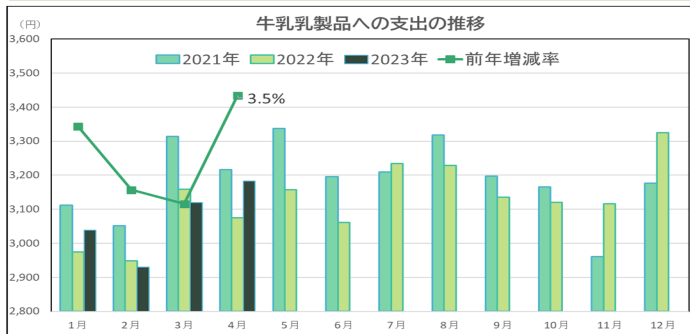


(千円) ホクレン家畜市場 成績一覧表(初生とく F1雄)

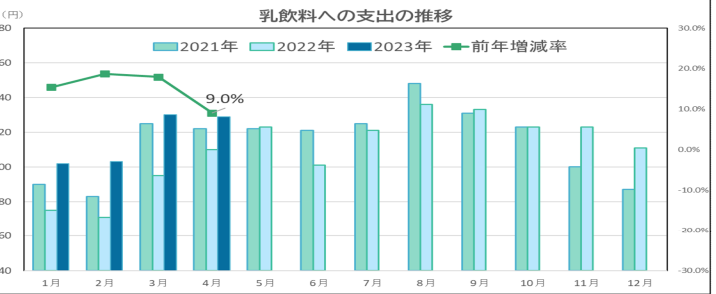
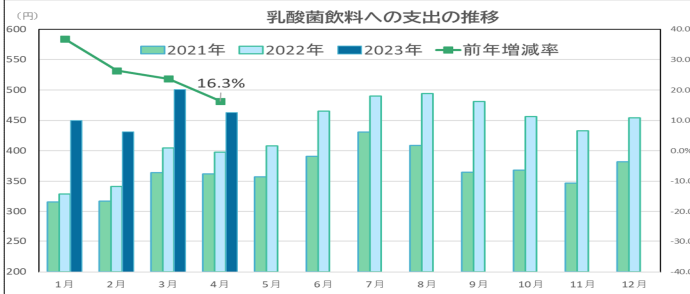
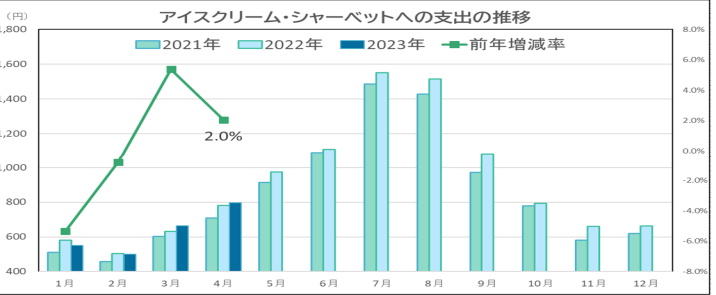
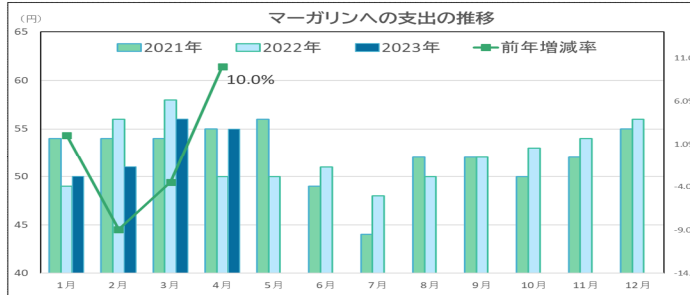
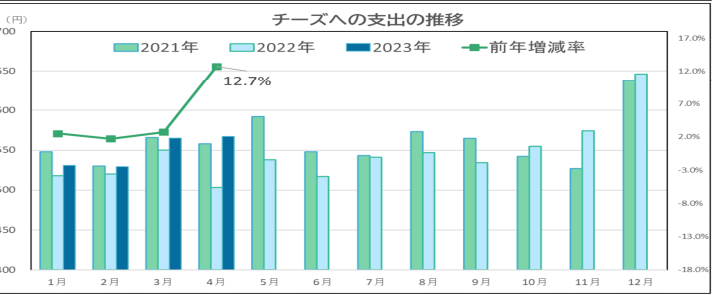
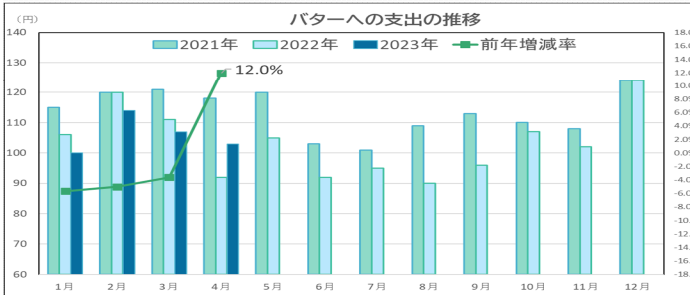
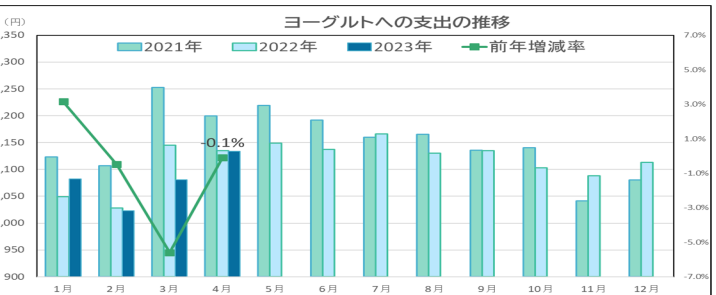
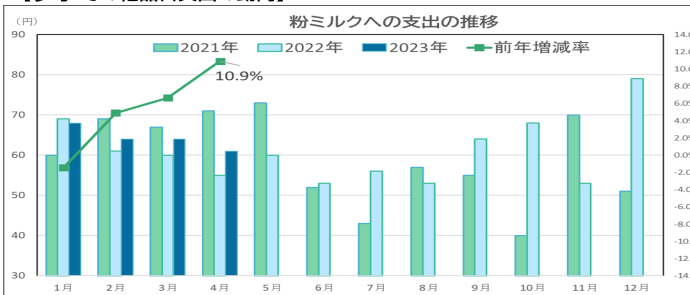


【家計支出の動向】

- (1)4月の支出額前年比について、外食121.8%、中食103.2%、内食105.1%と前年を上回り、食料全体への支出額は107.2%となった。
 - (2)牛乳乳製品の支出額についても、前年を上回った。(牛乳乳製品全体前年比:103.5%、(うち牛乳101.2%、乳製品105.1%))
 - (3)なお、4月の牛乳購入量は、90.9%(1世帯当たり5.76L)と8か月連続で前年を下回った。(※下記グラフに掲載無し)
- ※総務省家計調査(二人以上の世帯。家庭内食は、食料-調理食品-外食で独自に算出)



【参考:その他品目支出の動向】

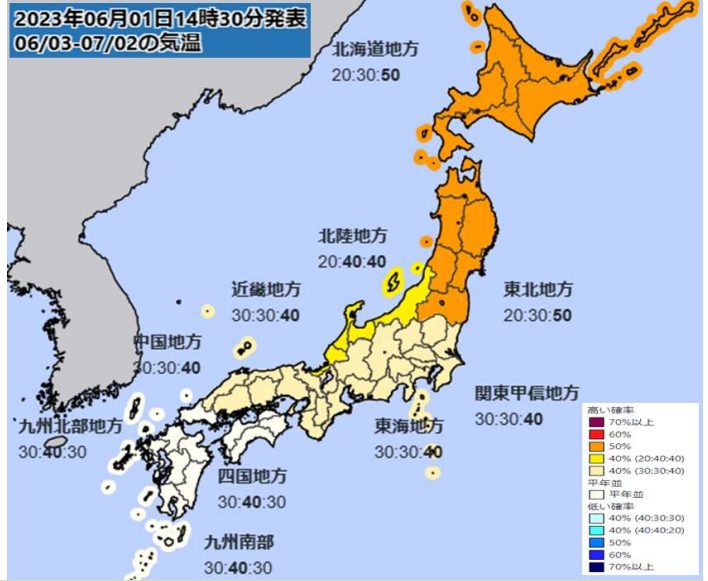
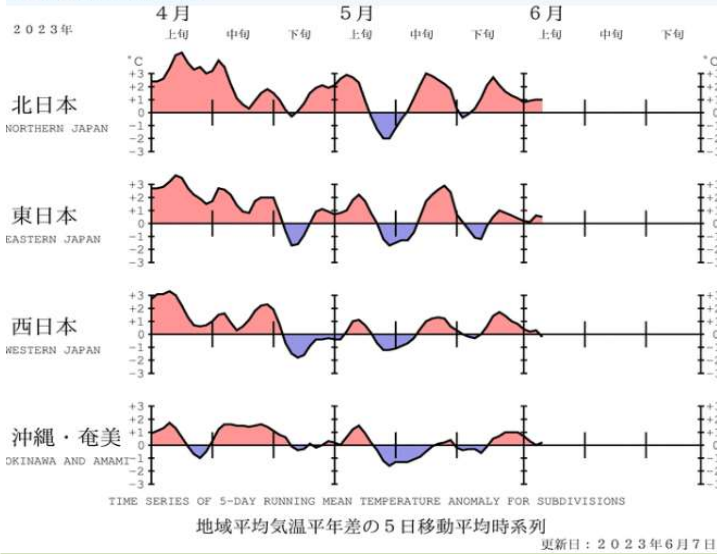


【気象庁HPより全国1ヶ月予報(6/3-7/2)抜粋】

北日本と東日本日本海側では、期間の前半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。東日本太平洋側、西日本、沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。平均気温は、北日本で高い確率50%、東日本で40%、西日本で30%です。

※出典:気象庁

前3か月間の気温経過



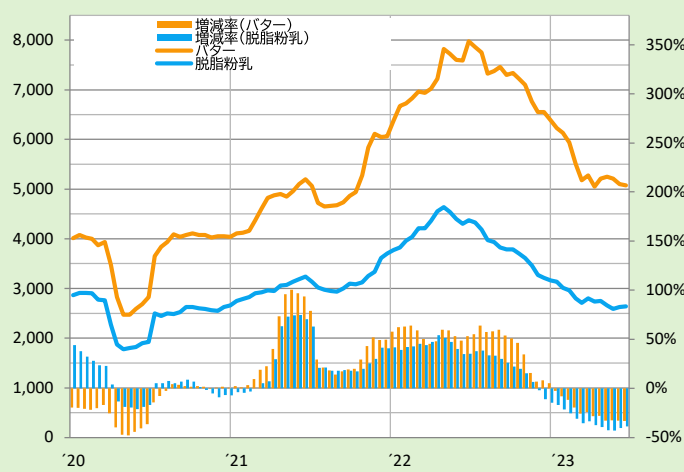
【乳製品輸出価格の動向】

(1)直近の乳製品国際相場について(5月下旬)

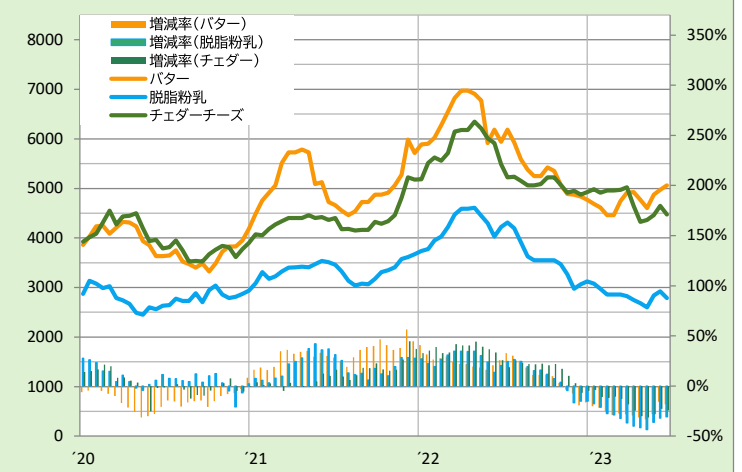
- ・欧州:脱脂粉乳2,650ドル/ト、バター5,100ドル/ト中心
- ・オセアニア:脱脂粉乳2,800ドル/ト、バター5,100ドル/ト、チェダーチーズは4,500ドル/ト中心

※出典:米国農務省(USDA)

(US\$/ト・F.O.B.port) 乳製品輸出価格の推移(欧州)



(US\$/ト・F.O.B.port) 乳製品輸出価格の推移(オセアニア)



※「2023年度生乳需要基盤確保事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」